

県立国際情報高等学校 部活動に係る活動方針

1 目標

- (1) 部活動は教育活動の一環として実施する。
- (2) 余暇の善利用を図り、心身を鍛え充実した生活を築こうとする主体的な態度を育てる。
- (3) 技術・競技力を向上させるだけでなく、個性の伸長と生涯教育の一環として楽しみながら活動する面との両立を図る。

2 本年度の部活動

(1) 本年度設置する部活動について

【運動部】

陸上競技・バドミントン・バスケットボール（男女）・バレーボール（男女）・サッカー（男女）・テニス（男女）・ソフトテニス・卓球・剣道・柔道

【文化部】

吹奏楽・演劇・美術・茶道・パソコン・ユネスコ

(2) 活動時間及び日数について

- ①活動日 学期中 月・火・木の3日間及び年間週休日の8日間（公式戦前の特別練習を除く）
長期休業中 平日（公式戦前の特別練習を除く）
- ②時間 学期中 月曜日及び火曜日は1時間15分、木曜日は1時間
週休日 3時間程度
長期休業中 3時間程度
- ③休養日 活動日以外（別紙「年間活動計画」による）
- ④その他
 - ・ 定期考査1週間前（土日含む）は部活動を行わない。大会等がある場合は校長の許可を得る。
 - ・ 休養日は部活動を行わない。大会等がある場合は校長の許可を得る。
 - ・ 平日の休養日の変更はその週の中で補い、週休日の休養日の変更はその月を含め、3か月以内に補う。

(3) 大会参加について

部活動として参加する大会は以下の点に該当するものとする。

- ① 高体連、高野連、高文連が主催、共催、後援する大会
- ② その他の大会については、生徒の健康面・学習面、保護者の経済的負担等に十分配慮した活動計画の下、校長が許可した場合のみ参加を認める。

3 部活動運営について

(1) 体罰等の禁止について

部活動顧問等の指導者は、いかなる理由があっても、部活動での指導で体罰を正当化することは誤りであり、決して許されないものであるとの認識をもち、体罰等のない指導に徹する。

(2) 保護者の理解と協力について

保護者の理解と協力は、部活動の運営上欠かすことができない大切なことであることから、顧問としての指導に関する基本方針・練習計画・練習内容・活動時間・休養日を明確にし、保護者に示す。